

1 2004 年度図書館の動き

2004 年度に図書館内外で展開された諸活動を省みて、今後の新たな飛躍の糧としたい。

新和泉図書館建設の促進

2003 年度から「新和泉図書館建設 WG」を図書館内に設置し、和泉校舎における新図書館建設の検討を進めてきた。昨年度、報告書『新和泉図書館建設について』を作成し、さらに 2004 年度初頭、その要約を関連部署、委員会に配布した。6 月 20 日の和泉委員会における「新和泉図書館検討委員会」の設置を受け、7 月 21 日の図書委員会において、「新和泉図書館建設促進委員会」を設置することとした。これは、和泉委員会と図書館が足並みをそろえ、両委員会による新和泉図書館の建設促進を目的とするものである。

ローライブラリーの開室

4 月 5 日、法科大学院の開講にあわせて、ローライブラリーを研究棟地下 1 階に開室した。旧法学部資料センター所蔵資料の継承や「ローライブラリー」という名称の問題など、法学部、法科大学院設置準備室等と協議を重ねた上での、難渋のスタートであった。業務運用は総合サービス課が担うが、法学部資料センター旧蔵資料の処理、サービス形態、立地の問題など、検討しなければならない課題がいくつか残されている。

保存書庫の運用

生田保存書庫は 1995 年 8 月に竣工し、その後直ちに中央図書館から約 30 万冊の蔵書が移転された。その後組織立った移転は今日まで行なわれなかったが、昨年度、資料保存 WG を設置し、資料保存に関する基本方針の見直しを開始した。検討の中で生田保存書庫への資料収蔵方針が再確認され、本年度移転を本格的に再開した。書庫の狭隘化が進む中で、今後さらに資料保存方針の検討が必要になる。

博物館資料の処理

かねてより博物館事務室と検討を進めてきた博物館図書室所蔵資料の処理を、10 月から開始した。博物館図書室資料を図書館蔵書に編入し、したがって予算的にも図書館図書費の一部として、管理することになった。当面、新規購入・寄贈図書について、図書館資料と同等の目録処理を行い、今後、逐次刊行物、既存資料の遡及処理と対象範囲を拡大していく予定である。なお、資料の運用には、これまで同様に博物館図書室がこれまでの運営方針に基づき行なうことになっている。

図書館利用者アンケートの実施

11月10日から27日にかけて、図書館利用者アンケートを、本学在籍学生・大学院生(聴講生を含む)を対象に実施した。3図書館あわせて1,620部配布し、回収率は47.6パーセントであった。まだ、詳細な分析は終了していないが、今後の図書館サービスの展開を考える上で、重要な基礎資料となるものであろう。

図書館システムの更新

2004年度は新たなサービス開始を含め、大きな変化があった。まず、2004年8月から9月にかけて、利用者用コンピュータと業務用コンピュータのリプレースを行った。利用者用コンピュータについては、2003年度に経験したコンピュータウィルス感染事例なども考慮して、通常のコンピュータではなく、シンクライアントシステムとよばれる集中管理システムを導入した。これによって、利用者用コンピュータの管理コストが大幅に削減されただけでなく、セキュリティについても大幅に向上した。業務用コンピュータのリプレースの目的は、主に処理速度の向上と経費削減だったが、この両目的は十分に達せられた。

またサービス面では、携帯電話専用の目録検索システムを同年8月に開始した。この携帯電話サービスは単なる目録検索ではなく、個人認証を利用した利用状況の照会や貸出延長処理サービスも提供している。

年度末には、WWWOPACの画面構成を大幅に変更した。これに伴って、ブックマーク機能や検索履歴機能がWWWOPACに追加されただけでなく、従来は単体で稼動していた山手線コンソーシアムOPACとの統合が図られた。

私立大学図書館コンソーシアム(PULC)に関わる活動

電子ジャーナルを主とする電子媒体資料のコンソーシアム契約を目的として組織された私立大学図書館コンソーシアム(PULC: Private University Library Consortium)には、2003年度から参加していた。今年度、コンソーシアム幹事校編成の変更により、幹事校の一角を担うことになり、電子ジャーナル版元2社とのコンソーシアム契約交渉を慶應義塾大学図書館とともに担当した。

杉並区図書館ネットワークの設立

杉並区図書館ネットワークは、杉並区立図書館、明治大学和泉図書館、女子美術大学杉並図書館、高千穂大学図書館、東京立正女子短期大学図書館、立教女学院短期大学図書館で構成する、相互協力体制である。2003年初頭からの検討が実を結び、7月26日、杉並区役所において発足調印式および記者会見が行なわれ、明治大学からは、野上修市図書館長が出席した。大学間連携、地域連携の実践として、山手線沿線私立大学図書館コンソーシアム、千代田区図書館との相互利用協定に次ぐ相互協力体制の設立となった。

総合研究大学院大学情報学専攻との相互利用協定締結

総合研究大学院大学情報学専攻は、国立情報学研究所 (NII) が開設する大学院である。本学図書館が多面的な資料を所蔵する総合大学の図書館であること、また地理的に国立情報学研究所と近い位置にあることなどから、NII より相互利用の申し入れがあり、協議を進めてきた。その結果、総合研究大学院大学情報学専攻大学院生と本学大学院生を対象として、明治大学中央図書館と国立情報学研究所情報資料センターの「相互利用申合せ」を12月1日に締結した。

「蘆田文庫特別展」の開催

10月2日から12月19日にかけて、博物館、リバティ・アカデミーと共催で『蘆田文庫特別展』を博物館特別展示室を会場に開催した。会期を前後二期に分け、前半を日本図編、後半を世界図編として、それぞれ資料32点、29点を展示した。期間中の入場者は4,647人であった。また、連動して蘆田文庫所蔵資料を材料に、リバティ・アカデミーにおいて、旧蘆田文庫編纂委員会関係教員他が講師を務める公開講座『古地図を読み解く』を開講し、好評を得た。

日本学会事務センター破産による影響

8月17日、財団法人日本学会事務センターに対する破産宣告がなされた。図書館では、学会誌(逐次刊行物)19誌を前払いで同センターと購読契約をしており、その債権額は10万円以内であった。財務部との相談の結果、債権放棄の対応となったが、洋雑誌をはじめとする前払い契約のリスクについてあらためて考えさせられる事件であった。

「布施辰治展」の開催

布施辰治は明治法律学校を1902年(明治35年)に卒業した弁護士で、その活動は明治から昭和にわたり、免罪事件、労働運動・社会運動関係事件の弁護、さらに普通選挙運動、生活者支援運動、廃娼運動等社会活動にもおよび、その足跡は植民地朝鮮、台湾にもおよんでいる。図書館では子息布施柑治氏より寄贈いただいた関係資料を所蔵しており、その一端を企画展として1月13日から2月28日にかけて展示した。新聞等マスコミにも取り上げられ、好評であった。

図書館講演会「著者と語る」

第6回をむかえる図書館講演会「著者と語る」を、作家窪島誠一郎氏を招き、10月20日和泉図書館において開催した。当日は台風接近のため18時に図書館を閉館しなければならないほどの悪天候であったが、65名(うち本学学生10名)の参加をえて、盛会のうちに終了することができた。

アフリカ文庫講演会

アフリカ文庫選定委員会の企画のもとに、昨年度に続き「アフリカ文庫講演会」を中央図書館多目的ホールを会場に、12月13日開催した。今回は、タンザニア連合共和国特命全権大使 E.E.E. ムタンゴ氏を招き、「Africa now: 現在のアフリカ、その素顔を語る」のタイトルで講演いただいた。当日は、ケニア共和国のデニス・N.O. アウオリ特命全権大使、大リビア・アラブ社会主義人民ジャマーヒーリーヤ国のヨーセフ・M.A. シャナブ参事官、カメルーン共和国のジョン・ビリ＝エコー一等書記官をはじめ、学生、大学院に在籍するアフリカからの留学生、校友、一般研究者など100名を超える出席者で満席であった。

学部間共通総合講座「図書館活用法」

2000年に始まった学部間共通総合講座「図書館活用法」は、5年目をむかえた。2003年度から生田校舎でも開講されるようになり、順調に推移してきたが、今年度、和泉校舎開講講座の受講者数が予想外の多人数となり、授業の進行に障害をきたすこととなった。次年度、和泉校舎での前後期2回開講などの対策を講じる必要があろう。

その他の活動及び動静

- 既卒者の採用

2003年度2名に続き、本年度も既卒者の採用2名が認められ、4月1日をもってそれぞれ、図書館庶務課、整理課に配属された。

- 明治大学を会場とした「ディスカバー図書館 2004」の開催

アカデミーコモンズのアカデミーホールを会場に、文部科学省・財団法人日本図書館協会主宰による「ディスカバー図書館 2004」が5月29日に開催された。会場提供ということで明治大学も後援者に名を連ねた。

- 司書課程実習生の受入

今年度は、筑波大学図書館情報専門学群から1名を7月5日から22日、慶應義塾大学文学部図書館情報学専攻から2名を9月10日から24日、さらに明治大学図書館司書課程から1名を10月4日から22日の日程で図書館実習生を受入れた。

- 『明治』への図書館紹介記事連載

大学が刊行する季刊雑誌『明治』2004年4月号(通巻22号)から8回にわたり「大学図書館の役割」の総合タイトルのもとに、図書館紹介記事の連載を開始した。執筆は館員の分担である。